

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	転移性肝腫瘍に対する肝切除に関する多施設共同後向き観察研究
研究責任者	橋本拓哉
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	大腸癌肝転移に対する手術適応は、化学療法などが進歩する現在においても、変化していると考え。現時点での手術適応に関する再評価を、手術適応基準がほぼ同等で手術症例数の多い当院と国立がん研究センターの症例を用いて行うことで、至適な手術適応基準の作成や最適な治療方針の作成を可能にする可能性があると考えています。
研究方法	2007年1月1日～2018年12月31日までに国立がんセンター中央病院または当院にて転移性肝腫瘍に対して肝切除を行った症例を対象とした後向き研究です。肝切除による根治達成率を主要評価項目として、術前、術中、術後の診療情報を電子カルテより取得して解析します。 本研究は学会、論文などで公表される可能性があります。尚、これらの情報は診療録より抽出し、個人が特定されない形で解析されるので個人が特定されることはありません。また、研究に参加を希望されない場合に診療に不利益はありません。もし研究への参加を希望されない場合は以下まで御連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：橋本 拓哉 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604